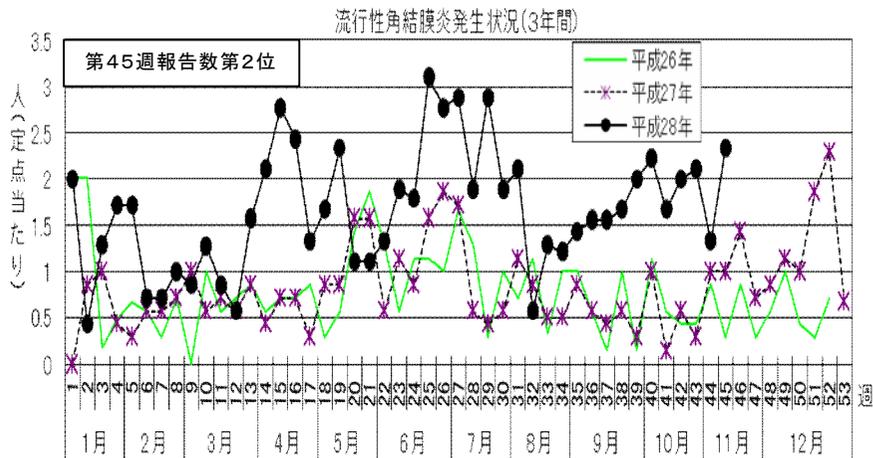
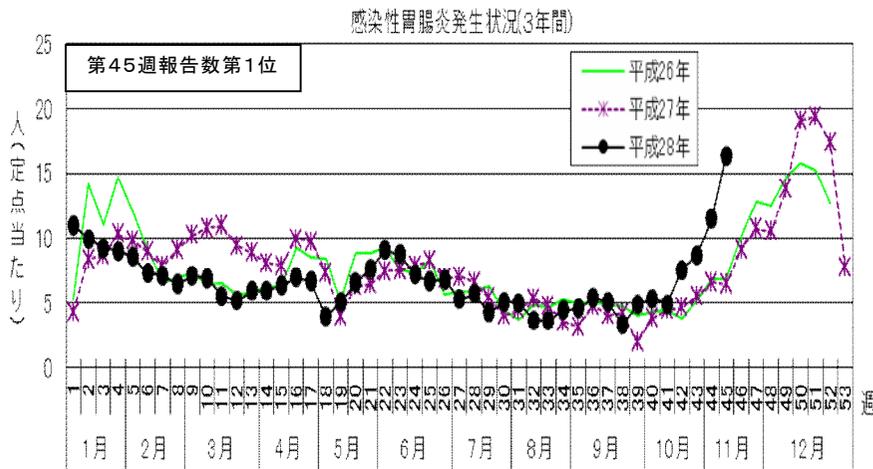


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年11月7日（月）～平成28年11月13日（日）〔平成28年第45週〕の感染症発生状況

第45週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は16.36人と前週（11.47人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.33人と前週（1.33人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.67人と前週（1.33人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



～知っていますか？レジオネラ症～

レジオネラ症はレジオネラ属菌による感染症で、肺炎を引き起こすレジオネラ肺炎と、肺炎にならない自然治癒型（ポンティアック熱）の2つの病型があります。
 川崎市における届出数は、平成20年以降年間7～17件で推移しており、男性が多くを占めています。以前の報告ではほとんどが50歳代以上でしたが、平成25年以降は30歳代～40歳代の報告もみられるようになってきました。

レジオネラ症とは？

●感染経路

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（空気中に浮遊している粒子）を吸入することにより感染
 ※ヒトからヒトへうつることはありません。

●潜伏期間

レジオネラ肺炎：2～10日
 ポンティアック熱：1～2日

●主な症状

レジオネラ肺炎
 肺炎、発熱、咳、呼吸困難、下痢、意識障害
 ※進行が早く、医療機関への受診や治療が遅れると死亡することもあります。

●ポンティアック熱

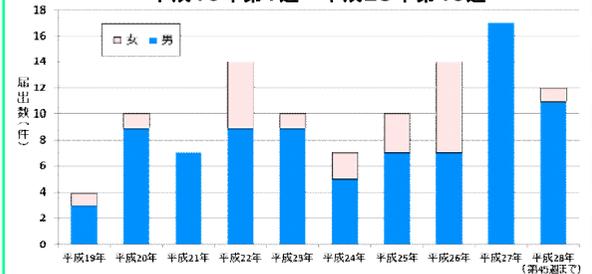
突然の発熱、インフルエンザ様症状

●予防対策

エアロゾルの発生する高圧洗浄や粉塵が出る腐葉土の取扱い等の際にはマスクを着用しましょう。



川崎市におけるレジオネラ症発生状況
 -平成19年第1週～平成28年第45週-



川崎市におけるレジオネラ症年齢群別発生状況
 -平成19年第1週～平成28年第45週-

